

# 中日ニュース

シネスコ版

高新10.37  
道新10.2

No. 302

34.10.30

南海三連勝

—日本シリーズ—

東京大阪

巨人か、南海か、四年ぶりの顔合せで火ぶたを切つた一九五九年度プロ野球日本シリーズは、猛打南海二勝のあと、追いつめられた巨人が必勝を期して舞台を東京へ移し、このシリーズ最大のヤマ第三戦を迎えました。一回裏巨人が先制の一点をあげれば、南海も野村のツーランホームーで2対1と逆転。どたん場の九回裏巨人は坂崎のホームランで同点に持ち込んだものの、南海は延長十回寺田のロングヒットで忽ち一点を叩き出すという息づまるゲームを展開。杉浦・長島の対決もついにシヨートフライに長島が打ちとられ、南海は三連勝して宿願の初優勝へあと一勝と巨人に迫りました。

荒れ狂つた新雪の山 岐 阜・長野

アルプスの連山に新雪が舞い降りて東の間、はやくも各地で遭難が続出。ここ北穂高では、東大山岳部員が遭難しました。待ちわびた両親と無言の対面。如何に山が好きとは云え、余りにも高価な代償ではあるまいか。アルピニストの空しいヒロイズムがこうした悲劇をくり返したとも言えるでしょう。

日本の群像

「安保」をめぐる人びと

臨時国会と共に日米安保条約改訂もいよいよ大詰めとなり、岸首相は党内とりまとめから、大阪でのP・R第一声まで東西ほんそう。しかしこれまで全くツンボ機敷におかれた、反主流派は慎重論をとなえて不気味な動きをみせ、まさに嵐の前の静けさです。

しかし、改訂に絶対反対する当の社会党は西尾問題をめぐって分裂状態では、石炭問題と共に全国的に高まつてきた改訂反対の勢力を統率しきれぬ状態です。

ところで条約改訂と共に目立つてくるのは戦力なき軍隊の自衛隊。伊勢湾台風では鉄砲の代りにシャベルをかついで大好評でしたが、しよせんは兵隊さん。連日、鉄砲をかついでの猛演習がつづいています。しかしこの自衛隊が余りにも旧式だというので買入れることになつたのが一千億円の新型戦闘機です。しかし、人工衛星が月の裏側をとんでいるときに戦闘機でもあるまいと評判が、かんばしくありません。

東西首脳会談を中心に平和への動きが活潑であり、又、今年も台風にも多くの人命と莫大な資産を奪われただけに安保条約の考え方も人さまざま。改訂強行の岸さんを中心に、激しくうずをまいていきます。

734

336

142

256